

III. 将来に向けて

この評価指針は、平成16年度から3年間にわたって実施してきた「公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究」の成果に基づいて作成されたものである。公立文化施設の運営や事業の評価は、今後ますます重要になるとされる反面、適切な評価を行うには難しい側面が存在していることも事実である。本評価指針も、ひとつの考え方としてまとめたものであって、これですべての文化施設を適切に評価できる訳ではない。今後、各地の施設がこの評価指針を活用した評価を実施し、そのフィードバックをとおして、さらに適切な評価指針が作成されていくこと、そしてそれを通して、各地の公立文化施設の運営が活性化されることを期待したい。